

報道関係者各位
ニュースリリース

衛星測位技術の国際会議「ION GNSS+ 2026」にて、 LEO PNT に関する研究成果を発表

古野電気株式会社(本社:兵庫県西宮市、代表取締役社長執行役員:古野幸男、以下 当社)は、2026年9月14日(月)~18日(金)にアメリカのフロリダ州オーランドで開催される衛星測位技術に関する世界最大級の国際会議「ION GNSS+ 2026」に参加します。9月18日(金)には、低軌道衛星を利用した測位技術「LEO PNT」^{※1}に関する研究成果を、Xona Space Systems 社^{※2}と共同で発表します。



本会議には、世界各国から衛星測位に関わる研究者、技術者、企業関係者が集まり、最新の研究成果や技術、各国の政策動向について発表・議論が行われます。

■講演概要

日 時	2026年9月18日(金) 15:48 (米国東部夏時間)
登壇者	古野電気株式会社 システム機器事業部 開発部 開発2課 主任技師 高山 洋史
演 題	低軌道衛星の動的な可視性による位置推定の高速化に関する検討
概 要	GNSS(全球測位衛星システム)を用いた高精度測位では、位置推定の誤差が目標とする位置精度に到達するまでに時間を要することがあります。これに対し、LEO PNT では、低軌道衛星が高速で移動し、地上から見た衛星配置が短時間で大きく変化するため、位置推定誤差の収束時間 ^{※3} を短縮できる可能性があります。本研究では、衛星配置の変化が位置推定誤差に与える影響を解析し、数値シミュレーションを通じて、LEO PNT の収束時間が GNSS と比較して約 1/5~1/10 程度に短縮される可能性を示します。

当社は、2026年6月に国内で初めて Xona Space Systems 社の「Pulsar」衛星から送信された実信号の受信を確認し、同年7月には GNSS スプーフィング試験環境下においても Pulsar 信号を安定して受信できることを確認しました。今回の講演を通じて LEO PNT に関する技術的知見を広く発信するとともに、今後も Xona Space Systems 社との協業を進めます。GNSS を補完し、測位・時刻同期のレジリエンスとセキュリティを高めるソリューションの実用化を目指してまいります。

※1 LEO PNT:地球を周回する低軌道(LEO)衛星からの信号を用いた衛星測位技術

※2 Xona Space Systems 社:低軌道衛星を用いた衛星測位の商業サービス実現を目指す米国のスタートアップ企業
(URL: <https://www.xonaspace.com/>)

※3 収束時間:位置の推定を開始してから、目標とする位置精度に到達するまでに必要な時間

<開催概要>

名称:ION GNSS+ 2026

会期:2026年9月14日(月)~18日(金)

会場:Hyatt Regency Grand Cypress

主催:ION (The Institute of Navigation) <https://www.ion.org/gnss/>

関連リンク

2026年8月4日発表(古野電気):国内初、Xona社「Pulsar」のLEO PNT実信号を受信

https://www.furuno.co.jp/news/general/general_category.html?itemid=1853&dispmid=1017

2026年2月3日発表(古野電気):Xona Space Systems社と、LEO PNTソリューション開発に向けた基本合意書を締結

https://www.furuno.co.jp/news/general/general_category.html?itemid=1770&dispmid=1017

2025年9月3日発表(古野電気):世界最大級の衛星測位技術に関する国際会議「ION GNSS+ 2025」にて講演

https://www.furuno.co.jp/news/general/general_category.html?itemid=1696&dispmid=1017

以 上